

令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 Triple P Japan

1 事業の成果

2023年度は、主に北海道・関東・東海・近畿・四国・九州・沖縄地方でグループワーク・セミナーを行ったが、対面での開催がほとんどとなった。オンラインの利点を生かしzoom併用でセッションを行うこともできた。様々な利点をいかし、全国の親御さんにプログラムを提供することができた。子育てリーダー育成としてファシリテーター養成講座は3回開催したが、全てオンライン講座を行った。オンラインの実施によって地域の枠を超えて片寄りなく全国的な養成講座開催ができた。今後もオンラインでの講座を行い、全国的にファシリテーターの養成を進めていきたい。日本子ども虐待防止学会第29回学術集会滋賀大会では「児童相談所および市町村におけるトリプルP導入の現状と親子関係構築支援の新しい展開に向けて」と題しシンポジウムでの発表を行った。プログラム普及活動は行政だけでなく、企業での実施も行われており、主に関東圏で徐々に理解が広がってきている。また、大阪府摂津市の子育て支援「Pamoja」、佐賀県佐賀市の「前向き子育て佐賀」、香川県の「親の育ちサポートかがわ」など、各地でトリプルPを取り入れた子育て支援活動を続けている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【10,988】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子育て教育プログラム事業	子育て中の親御さんが集まり、前向きに子育てをするためのトリプルPプログラムの17の技術を学び実践し評価する。前半4回はグループ、電話個人セッション3回、最終回は全体で集まり体験をシェアし、自分と子供の変化を実感する。また、親御さん達の交流の機会も持ち、ソーシャルキャピタルも形成する。	2023年4月から2024年3月にかけて、毎月1～2回程度	東京都世田谷区、神奈川県鎌倉市など、大阪府摂津市など、京都府長岡京市・大山崎町など、兵庫県神戸市など、香川県香川市など、和歌山県和歌山市・かつらぎ町など、福岡市、佐賀市、沖縄県糸満市・西原町など	各会場3～5人	0歳から12歳までのお子さんをお持ちの親御さん約400名	3,430
各種セミナーの開催及び他教育関連団体との交流事業	地域で子どもに関わる専門家がトリプルPプログラムを実施できるためのファシリテーター養成コースの3回を開催し、認定者を育成する。	2023年4月～2024年3月	オンライン	2人	全国で子どもの健康・教育・福祉に関わる専門家、子育てに関心のある者約53名	7,500
調査研究、情報収集及び提供事業	日本子ども虐待防止学会第29回学術集会滋賀大会シンポジウム	2023/11/25-26	ハイブリッド開催	6人	研究会参加者セッション参加者など約100名	14
会報及び出版物発行事業	トリプルP養成講座広報、ポスターの作成など。	通年		2人	教材頒布受益者など100名	4
その他、目的を達成するために必要な事業	令和5年度トリプルP研究会 トリプルPファシリテーター研究・交流会	2023/6/10 2024/2/12	オンライン	10人 6人	子育て支援者・認定ファシリテーター約50名	40

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
実施なし	—	—	—	—	0

令和5年度 活動計算書

特定非営利活動法人 Triple P Japan

(単位:円)

科 目	金 額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取入会金	21,000	
受取会費	505,000	
養成講座	11,050,000	
セミナー	1,241,080	
教材販売	3,168,860	
受取利息	143	
雑収益	6,084	
経常収益		15,992,167
(2) 経常費用		
事業費		10,988,112
教材	9,502,310	
旅費交通費	2,332	
通信運搬費	47,190	
消耗品費	3,080	
諸謝金	1,418,000	
支払手数料	1,200	
学会費	14,000	
管理費		5,472,798
給料手当	2,126,100	
法定福利費	397,350	
会議費	3,575	
旅費交通費	187,512	
通信運搬費	194,025	
消耗品費	300,385	
貸借料	1,267,200	
租税公課	167,519	
支払手数料	829,132	
経常費用合計		16,460,910
当期経常増減額		△468,743
当期一般正味財産増減額		△468,743
一般正味財産期首残高		13,024,152
一般正味財産期末残高		12,555,409
Ⅲ正味財産期末残高	12,555,409	

令和5年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 Triple P Japan

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金および預金	10,771,133	未払金	263,118
未収入金	527,784	未払消費税	95,500
商品	1,474,954	未払法人税等	70,000
前払費用	107,800	預り金	42,644
流動資産合計	12,881,671	前受会費	5,000
2. 固定資産		流動負債合計	476,262
その他固定資産			
保証金	150,000		
その他固定資産合計	150,000		
固定資産合計	150,000		
		負債合計	476,262
		正味財産の部	
		III 正味財産の部	
		繰越一般正味	11,024,152
		活動費積立金	2,000,000
		当期一般正味財産増加額	△468,743
		正味財産合計	12,555,409
資産合計	13,031,671	負債及び正味財産合計	13,031,671

計算書類の注記

特定非営利活動法人Triple P Japan

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
工具器具及び備品の減価償却は定率法によっています。
- (3) 引当金の計上基準
該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当なし
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 事業別損益の状況

事業別損益の状況は、別紙に添付します。

3 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
該当なし	-	-

4 使途等が制約された寄附金等の内訳

使徒が制約された寄附金等はありません。
したがって使途が制約されていない正味財産は12,555,409円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
該当なし	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

5 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産						
投資その他の資産						
合計	0	0	0	0	0	0

6 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
該当なし	-	-	-	-
合計	-	-	-	-

7 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書) 受取寄附金		
委託料	-	-
(活動計算書計 (貸借対照表) 未払金		
役員借入金	-	-
貸借対照表計	-	-

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 現物寄附の評価方法
現物寄附を受けた固定資産の評価方法は、固定資産税評価額によっています。
- ・ 事業費と管理費の按分方法
各事業の経費及び事業費と管理費については収入割合に基づき按分しています。
- ・ その他の事業に係る資産の状況
該当なし

特定非営利活動法人Triple P Japan

財産目録

令和6年3月31日
(資産の部)

(単位:円)

I 流動資産

1. 現金及び預金

(1) 小口現金

36,077

(2) 普通預金

三菱UFJ銀行品川駅前支店

9,537,118

みずほ銀行外苑前支店

619,608

みずほ銀行久が原支店

578,330

10,771,133

2. 未収金

市原市

527,784

527,784

3. 商品

ワークブック他

1,474,954

4. 前払費用

(1) ㈱Teable R6年4月利用料・共益費

89,100

(2) ヒューリックビズフロンティア㈱ パーチャルオフィスR6年4月利用料

18,700

107,800

流動資産計

12,881,671

II 固定資産

1. 外部出資その他の資産

保証金

(1) ㈱Teable

120,000

(2) ヒューリックビズフロンティア㈱

30,000

150,000

投資その他の資産計

150,000

固定資産計

150,000

資産合計

13,031,671

(負債の部)

I 流動負債

1. 未払金

(1) 従業員 R6年3月給与

146,651

(2) 通信費他

42,293

(3) トリプルビーインターナショナル

74,174

263,118

2. 前受会費

R6年度分

5,000

3. 預り金

源泉所得税他

42,644

4. 未払消費税

95,500

5. 未払法人税等

70,000

流動負債計

476,262

負債合計

476,262

(正味資産の部)

I 正味財産

12,555,409

令和5年度年間役員名簿

特定非営利活動法人 Triple P Japan

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役 名 どちらかに○	(フリガナ) 氏 名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	☒ 理事・監事	ヤカワ トシコ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		柳川 敏彦			
2	☒ 理事・監事	カウ ノコ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		加藤 則子			
3	☒ 理事・監事	サダ イズミ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		澤田 いずみ			
4	☒ 理事・監事	フジタ 伊ロウ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		藤田 一郎			
5	☒ 理事・監事	シヤマ マチコ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		白山 真知子			
6	☒ 理事・監事	マツカ カオリ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	令和5年8月1日 ～ 令和5年3月31日
		松岡 かおり			
7	理事・ ☒ 監事	イヅツ ヒロコ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		石津 博子			
8				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
9				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 Triple P Japan

	氏 名	
1	柳川 敏彦	
2	加藤 則子	
3	澤田 いずみ	
4	藤田 一郎	
5	白山 真知子	
6	石津 博子	
7	松岡 かおり	
8	稲村 幸子	
9	幸山 由佳	
10	茗荷 良子	
11		
12		

監査報告書

2024 年 5 月 2 日

特定非営利活動法人 Triple P Japan

理事長 柳川 敏彦 様

監事 石津 博子

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人 Triple P Japan の 2023 年度（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで）の事業報告書類及び計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、損益計算書、総勘定元帳）について監査を行いました。

私は、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たって、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等、合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令、定款に基づき執行されており、業務実施状況、経営の状況及び財産の状況について、下記の改善すべき点を除いて適正であると認めます。

1. 管理運営にかかる諸経費の節減及び効率化を継続してください。
2. トリプル P のさらなる普及啓発の為、たとえば SNS の活用などの新たな対策のご検討をお願いします。
3. セミナーやワークショップの開催数を増やすようお願いします。
4. ファシリテーター養成講座も増やす努力もお願いいたします。

以上